

元気なひと なにかま



神戸中学校 陸上競技部男子 駅伝チーム

☺三重県大会で2年連続優勝

私たちは、陸上競技部男子の長距離メンバーから選抜された駅伝チームです。今年度は3年生6人、2年生3人の合計9人です。仲が良く、団結力があるチームだと思います。

昨年度と今年度、2年連続で鈴鹿地区と三重県の中学校駅伝競走大会で優勝できました。全国大会では、満足のいく結果が残せず悔しい思いが残りましたが、お互いチームメイトを誇りに思うとともに、

顧問の先生方には、ここまで指導していただき、大変感謝しています。

☺きついけど、楽しい

練習は、日曜日以外はほぼ毎日約10km走っています。8kmを一気に走ったり、1kmや2kmを全力で走って自己ベストに挑戦するタイムトライアルをしています。

大会では、中学生男子は6区間・各3kmの合計18kmで競います。全力で走っているときはきつい

ですが、仲間の思いが込められた襷をつなぐ駅伝競技は、個人競技とは違う楽しさがあります。

☺後輩へ襷をつなぐ

3年生はもうすぐ卒業します。残るメンバーでチームを受け継ぎ、駅伝が強いことが、神戸中学校の新たな伝統になるよう、襷をつないでいきたいです。

この春、神戸中学校に入学される皆さん、ぜひ陸上部へ入部してくださいね。

闘え! モータースポーツの鈴鹿人

かつて若者がバイクに熱狂した時代、ライダーは彼らのヒーローでした。アルバイト情報誌の広告にも起用され、プロライダーとして鈴鹿8耐で2度表彰台に登った宮崎祥司さんは引退後、鈴鹿市内でラジコンカーのお店とラジコンコースを営んでいます。

そんな宮崎さんが今年の夏、鈴鹿8耐にライダーとして復帰することを決めました。実に18年ぶり、50歳を迎えるの復帰は驚きです。キッカケは昨年、8耐に復帰参戦した伝説のライダー、シュワッツ選手が鈴鹿市内をランニングしてトレーニングをする姿を見たこと。ライ

ダーを引退してからはオートバイが嫌いになっていた時期もあったそうですが、同世代の人に勇気を与えたいという思いから、復帰を決断したそうです。

既に昨年からの復帰に向けたトレーニングを始めている宮崎選手。オートバイと鈴鹿8耐に魅せられ、人生を共にしてきた50歳の男性が、再び大人の夢の舞台に挑戦します。



宮崎祥司さん
(鈴鹿8耐/レーシングライダー)

■語り手 辻野ヒロシ

(鈴鹿サーキット実況アナウンサー・鈴鹿モータースポーツ友の会副理事長)

広報すずか 2014年2月5日号

キーボード

今年も市民会館で成人式が開催されました。参加された新成人の皆さんは、すてきな思い出を作られたことでしょうか。

本市の市民会館は、昭和43年の開館から長い年月が経っています。それだけに、たくさんの方が、ここでいろいろな思い出を胸に刻まれているのではないのでしょうか。

私の市民会館に関する最初の記憶は、幼稚園のときのピアノ演奏会です。出番までの間、控室で

折り紙を取り出して、同い年のいここにヨットの折り方を教えてもらったことも覚えています。折り方はすっかり忘れていましたが…。中学生のときには、文化祭や音楽会。大人になってからは好きな歌手のコンサートがありました。ほかにもいろいろな思い出があります。

今後どのような思い出の舞台となってくれるのか、楽しみです。(高)



鈴鹿市携帯サイト
「元気モバイル」

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) 🏠 <http://www.city.suzuka.lg.jp/>
 ■編集/企画財務部秘書広報課 ☎059-382-9036 ☎059-382-9040 📧 hishokoho@city.suzuka.lg.jp
 ■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 八野就労支援センター印刷係
 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810



古紙配合率100%再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。